

# 参考資料

---

1. 2010年3月期 第2四半期決算ハイライト補足
2. 2010年3月期 第2四半期の取り組み
3. プロジェクト事例
4. その他

## 連結決算ハイライト <第2四半期>

### ■ 前年同期との比較

(百万円)

	2009年3月期 2Q (7月~9月)	2010年3月期 2Q (7月~9月)	増減額	増減率
売上高	85,789	85,361	△428	△0.5%
営業利益	13,858	12,137	△1,721	△12.4%
営業利益率	16.2%	14.2%	△1.9P	
経常利益	14,157	11,506	△2,651	△18.7%
四半期純利益	8,181	5,855	△2,326	△28.4%
1株当たり四半期純利益	¥42.07	¥30.09	△¥11.98	△28.5%

## 業種別連結売上高 <第2四半期>

(百万円)

	2009年3月期 2Q (7月～9月)	構成比	2010年3月期 2Q (7月～9月)	構成比	増減額	増減率
証券業	34,122	39.8%	30,775	36.1%	△3,347	△9.8%
保険業	12,082	14.1%	14,025	16.4%	+1,942	+16.1%
銀行業	6,086	7.1%	7,876	9.2%	+1,789	+29.4%
その他金融業	7,266	8.5%	5,826	6.8%	△1,440	△19.8%
金融サービス業	59,557	69.4%	58,502	68.5%	△1,055	△1.8%
流通業	10,786	12.6%	11,327	13.3%	+540	+5.0%
その他産業等	15,444	18.0%	15,531	18.2%	+86	+0.6%
合計	85,789	100.0%	85,361	100.0%	△428	△0.5%
野村ホールディングス	25,488	29.7%	22,188	26.0%	△3,300	△12.9%
セブン&アイ・ホールディングス	9,413	11.0%	11,303	13.2%	+1,890	+20.1%

(注)野村ホールディングスおよびセブン&アイ・ホールディングス向け売上高は、それぞれの子会社向け売上高を含む

## 品目別連結売上高 <第2四半期>

(百万円)

	2009年3月期 2Q (7月~9月)	構成比	2010年3月期 2Q (7月~9月)	構成比	増減額	増減率
コンサルティングサービス	9,325	10.9%	7,260	8.5%	△2,064	△22.1%
開発・製品販売	36,297	42.3%	33,059	38.7%	△3,237	△8.9%
運用サービス	37,005	43.1%	41,342	48.4%	+4,336	+11.7%
商品販売	3,161	3.7%	3,699	4.3%	+538	+17.0%
ITソリューションサービス	76,464	89.1%	78,100	91.5%	+1,636	+2.1%
合 計	85,789	100.0%	85,361	100.0%	△428	△0.5%

## 連結P/Lハイライト <第2四半期>

(百万円)

	2009年3月期 2Q (7月~9月)	2010年3月期 2Q (7月~9月)	増減額	増減率
<b>売上高</b>	85,789	85,361	△428	△0.5%
<b>売上原価</b>	59,784	60,375	+591	+1.0%
<b>外注費</b>	30,770	27,681	△3,089	△10.0%
<b>売上総利益</b>	26,005	24,985	△1,019	△3.9%
<b>売上総利益率</b>	30.3%	29.3%	△1.0P	
<b>販管費</b>	12,146	12,848	+702	+5.8%
<b>営業利益</b>	13,858	12,137	△1,721	△12.4%
<b>営業利益率</b>	16.2%	14.2%	△1.9P	

## 連結P/Lハイライト <第2四半期> 続き

(百万円)

	2009年3月期 2Q (7月~9月)	2010年3月期 2Q (7月~9月)	増減額	増減率
<b>営業利益</b>	<b>13,858</b>	<b>12,137</b>	<b>△1,721</b>	<b>△12.4%</b>
<b>営業外損益</b>	<b>298</b>	<b>△630</b>	<b>△929</b>	
受取利息	268	88	△180	
受取配当金	30	12	△18	
持分法による投資損失	-	△546	△546	
<b>経常利益</b>	<b>14,157</b>	<b>11,506</b>	<b>△2,651</b>	<b>△18.7%</b>
<b>特別損益</b>	<b>△96</b>	<b>△572</b>	<b>△475</b>	
投資有価証券評価損	△92	△582	△490	
<b>法人税等</b>	<b>5,880</b>	<b>5,080</b>	<b>△800</b>	
<b>四半期純利益</b>	<b>8,181</b>	<b>5,855</b>	<b>△2,326</b>	<b>△28.4%</b>

# 2010年3月期第2四半期の取り組み 各種報道より

## 地銀協の投信センターで次世代BESTWAY採用

- 全国地方銀行協会の共同事業「投信販売地銀共同センター」は、2010年5月までに投信口座管理システムの次期システムへの切り替えを完了。次期システムには、野村総合研究所が提供する「次世代BESTWAY」を採用
- 同センターには現在、地銀64行中52行が参加している。このうちの1行で09年7月から新システムを試行。順調に推移していることから今後、5グループに分けて2010年5月までに順次、移行する

次期口座管理システム  
10年5月までに移行を完了  
地銀協の投信センター  
全国地方銀行協会の  
共同事業「投信販売地  
銀共同センター」は、  
10年5月までに投信口  
座管理システムの次期  
システムへの切り替え  
を完了する。

同センターには現  
在、地銀64行中52行が  
参加している。このう  
ちの1行で09年7月か  
ら新システムを試行。  
順調に推移しているこ  
とから今後、5グルー  
プに分けて10年5月ま  
でに順次、移行する。  
次期システムには、  
野村総合研究所が提供  
する「次世代BEST  
WAY」を採用する。  
各行の投信の取扱量の  
増大に対応する。

2009年9月18日 ニッキン

# 2010年3月期第2四半期の取り組み 各種報道より

## オープンID技術をベースとした認証サービスの提供に向けた検討開始

- 日本ベリサインと共同でオープンID技術をベースとした高度認証サービスの提供に向けた検討を開始
- 今後NRIはID認証連携ソリューション「Uni-ID」、携帯電話OTP認証ソリューション「セキュサーフ」などの基盤製品を提供する。
- 高度認証サービスは、09年12月の提供開始を目指す

個人利用者が対象  
認証を共同で検討

◆日本ベリサイン（ベリサイン）と野村総合研究所（NRI）8月6日、共同でオープンID技術をベースとした高度認証サービスの提供に向けた検討を開始した。同サービスは、個人利用者を対象とする。

高度認証サービスの導入で、通常のIDとパスワードによる認証にワンタイムパスワード（OTP）認証やリステート認証などの認証機能を付加した、信頼性の高いID情報連携が実現する。

今後、NRIはID認証連携ソリューション「Uni-ID」、携帯電話OTP認証ソリューション「セキュサーフ」などの基盤製品を提供する。ベリサインはリステート認証「ベリサイン・アイデンティティプロテクション・オンライン詐欺検出サービス（VIPFDS）」などを提供する。

両社の高度認証サービスは、09年12月の提供開始を目指す。

2009年8月14日 ニッキン

## 個人向けに高度認証サービス

### OpenIDをベースに

### NRIと日本ベリサインが共同で

野村総合研究所（NRI）と日本ベリサイン（ベリサイン）が、個人向けに高度認証サービスを提供する。個人向けサービスは、OpenIDをベースに、NRIの「Uni-ID」とベリサインの「セキュサーフ」を組み合わせたサービスとなる。両社は、8月6日、共同でこのサービスについて検討を開始した。同サービスは、個人利用者を対象とする。高度認証サービスの導入で、通常のIDとパスワードによる認証にワンタイムパスワード（OTP）認証やリステート認証などの認証機能を付加した、信頼性の高いID情報連携が実現する。

今後、NRIはID認証連携ソリューション「Uni-ID」、携帯電話OTP認証ソリューション「セキュサーフ」などの基盤製品を提供する。ベリサインはリステート認証「ベリサイン・アイデンティティプロテクション・オンライン詐欺検出サービス（VIPFDS）」などを提供する。

両社の高度認証サービスは、09年12月の提供開始を目指す。

2009年8月10日 電経新聞



# 2010年3月期第2四半期の取り組み 各種報道より

## テスト工程最大75%削減

- 企業のシステム開発における結合テスト・総合テスト工程を効率化する、テスト自動実行支援ツール「てぷらぱ」を8月27日に発売
- 従来のツールでは実現できなかった、テスト自動実行の準備からテスト結果の検証までをトータルにサポートするツール。手動によるテストに比べ最大75% (NRIによる試算) の工数削減を実現
- 今後、「てぷらぱ」をNRIグループのシステム基盤ソリューション「GranArch(グランアーチ)」の「システム開発基盤ソリューション」中核製品のひとつとして、企業のシステム開発の品質と効率性を高める支援をしていく

### テスト工程 75%削減 自動実行支援ツール発売

N R I

野村総合研究所のNRIは、システム開発のテスト工程効率化を目的として開発した「てぷらぱ」を8月27日に発売した。従来のツールでは準備作業が多かった結合テスト・総合テストの準備が比較的時間のかかる工程であったが、「てぷらぱ」を導入することで、テストの準備作業が大幅に削減される。また、テストの実行も自動化されることで、テストの実行時間も大幅に削減される。NRIは、この「てぷらぱ」の発売を契機として、システム開発の効率化と品質向上に貢献していく。

従来のテスト工程は、Wintel環境でのテスト実行環境の構築、テストデータの準備、テストの実行、結果の検証という一連の作業が必要であった。しかし、「てぷらぱ」を導入することで、これらの作業が自動化され、テストの実行時間も大幅に削減される。また、テストの実行も自動化されることで、テストの実行時間も大幅に削減される。

「てぷらぱ」は、Wintel環境でのテスト実行環境の構築、テストデータの準備、テストの実行、結果の検証という一連の作業が必要であった。しかし、「てぷらぱ」を導入することで、これらの作業が自動化され、テストの実行時間も大幅に削減される。また、テストの実行も自動化されることで、テストの実行時間も大幅に削減される。

「てぷらぱ」は、Wintel環境でのテスト実行環境の構築、テストデータの準備、テストの実行、結果の検証という一連の作業が必要であった。しかし、「てぷらぱ」を導入することで、これらの作業が自動化され、テストの実行時間も大幅に削減される。また、テストの実行も自動化されることで、テストの実行時間も大幅に削減される。

2009年9月7日 日本情報産業新聞

## 2010年3月期第2四半期の取り組み 各種報道より

### セキュリティ事業で資本業務提携

■NRIセキュアテクノロジーズ株式会社は、マネージド・セキュリティ・サービス※1(以下、MSS)事業の差別化・高度化、および営業力の強化を図るため、ネットワークセキュリティサービス提供企業である株式会社セキュアヴェイルと、業務提携について合意

■この提携に伴い、NRIセキュアは、セキュアヴェイルからの第三者割当増資の引受に合意し、18.5%(出資後比率)の株式を取得。また、NRIセキュアは、非常勤取締役1名を派遣する予定

■NRIセキュアは、今後も、事業強化に必要な外部とのアライアンスを積極的に推進していく予定

2009年9月21日 日経産業新聞

## 2010年3月期第2四半期の取り組み 各種報道より

### SecureCube/Centralの発売

- NRIセキュアテクノロジーズ株式会社は、セキュリティマネジメント改善・効率化ソリューション「SecureCube/Central」に、自社のセキュリティレベルを他社と相対的に比較できる機能を追加し、8月24日販売を開始
- アイ・エス・レーティングが提供するインディケーション評価調査項目(標準版)を採用することで、他社との情報セキュリティレベルの比較を可能にした
- 「SecureCube/Central」は、NRIセキュアテクノロジーズが提供する、セキュリティマネジメント改善・効率化ソリューション。主に大手企業向けに販売し、3年間で50社への導入を目指す

2009年08月25日 日経産業新聞

# 2010年3月期第2四半期の取り組み 各種報道より

## ホテルを核とした街づくり基本構想

- 奈良県の「ホテルを核とした街づくり基本構想策定業務の公募型プロポーザルで、野村総合研究所を最優秀提案者として特定した。
- 用地への導入する機能について検討するほか、街づくり基本構想を策定する

奈良県

ホテルを核、まちづくり基本構想

## 野村総研に委託

奈良県は、「ホテルを核として検討するほか、まちづくり基本構想策定業務」の公募型プロポーザルで、野村総合研究所を最優秀提案者として特定した。7月27日に委託額1197万円（税込み）で契約した。奈良警察署用地への導入機能について検討するほか、まちづくり基本構想を策定する。プロポーザルには、シンクや設計事務所、土木コナックなど21者が参加し、20者が技術提案書を提出していた。概要は、県下における観光

ル跡地には、県がホテルの誘致の活動を進めており、相乗効果が期待できる具体的な施設を複数案盛り込んだ基本構想もまとめる。構想では、まちづくり基本コンセプトや、施設規模、配置計画、事業手法の基本方向などを盛り込む考えだ。履行期間は2010年3月12日まで。

2009年8月3日 建設通信新聞 17面

## 2. プロジェクト事例

---



**基幹システムの構築・運用**

## 2. プロジェクト事例

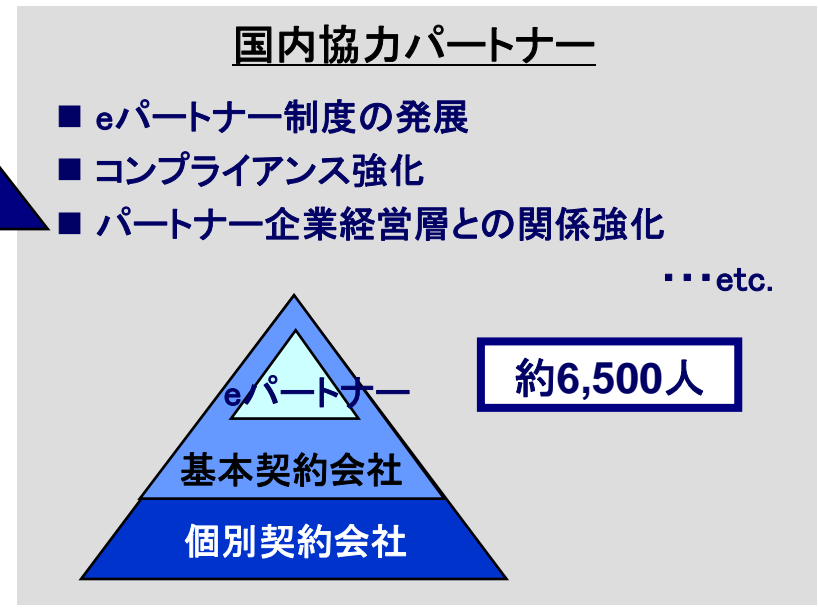
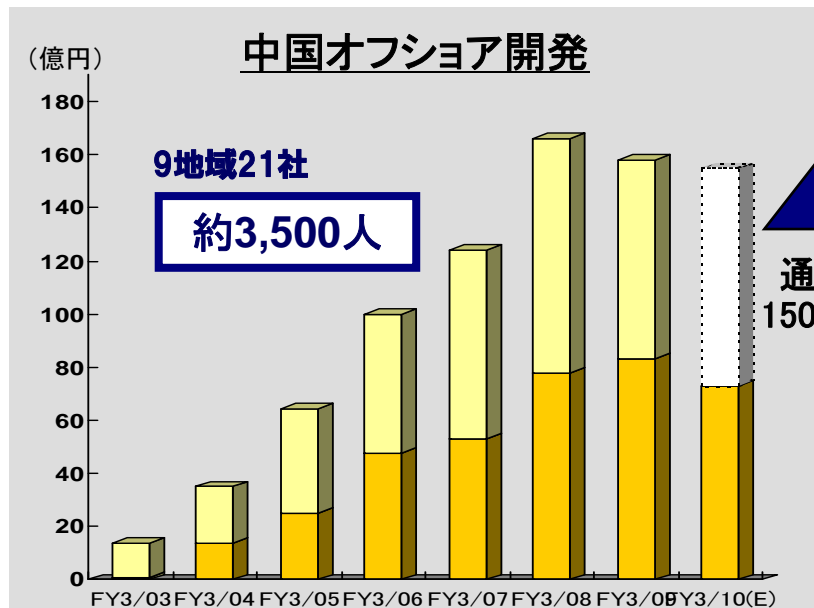
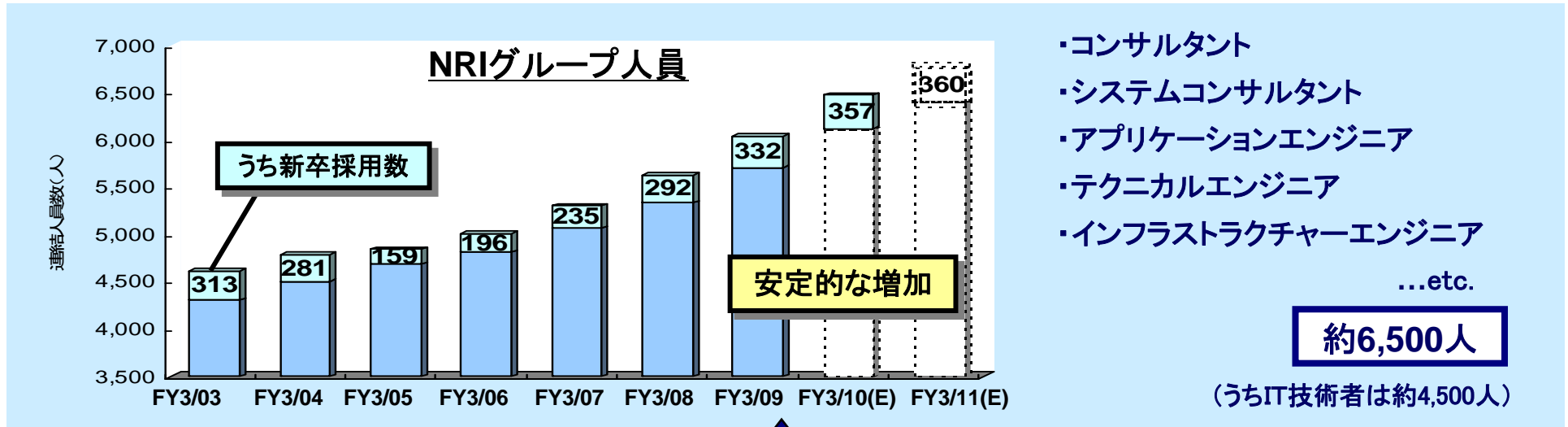
---

**三井住友VISAカード**

**三井住友カード株式会社 様**

**Web系システムの構築・運用**

# 社員+国内・中国協力パートナー

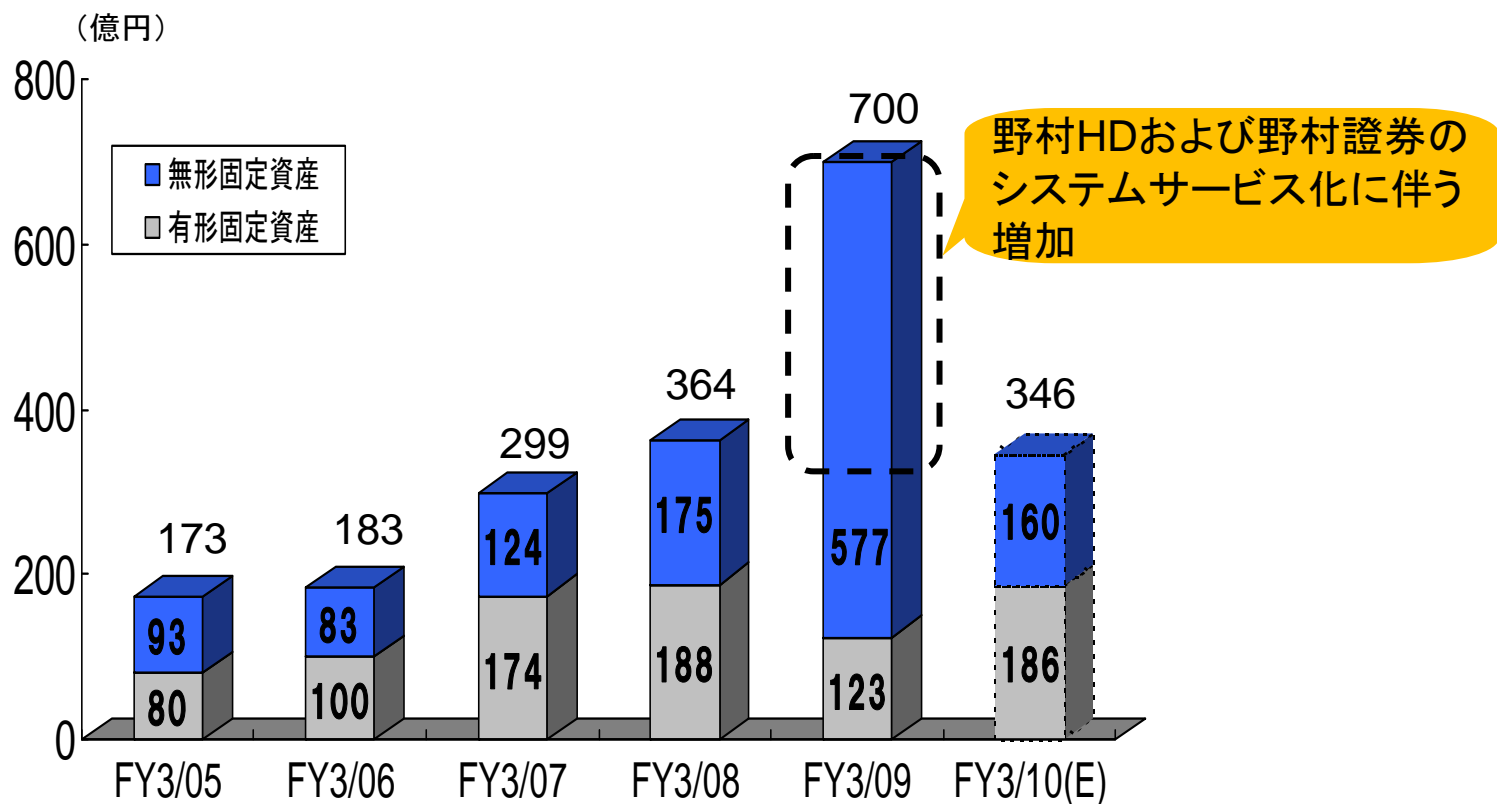


(注)人数は2009年9月末時点

# 設備投資

- 共同利用型システムサービスの更新・新規開発、運用サービス拡大に対応するためのハードウェア投資を継続

### 設備投資額の推移





## その他 - 業績補足説明資料

### ■ 売上高3,400億円・営業利益440億円の収支モデル

(億円)

	2009年3月期 (実績)	2010年3月期 (10/23予想)注	前期比		2010年3月期 (4/24予想)注	前回予想差
			金額	増減率		
売上高	3,412	3,400	△12	△0.4%	3,500	△100
売上原価	2,408	2,440	+31	+1.3%	2,570	△130
うち労務費	543	550	+6	+1.2%	600	△50
うち外注費	1,214	1,120	△94	△7.8%	1,170	△50
うち減価償却費	197	300	+102	+51.6%	350	△50
売上総利益	1,004	960	△44	△4.4%	930	+30
売上総利益率	29.4%	28.2%	△1.2P		26.6%	+1.7P
販管費	507	520	+12	+2.5%	500	+20
営業利益	497	440	△57	△11.5%	430	+10
営業利益率	14.6%	12.9%	△1.6P		12.3%	+0.7P

(注) 収支モデル作成のための連結想定値

## その他 - ブランディング活動

### フォーラム



未来創発フォーラム2009 [名古屋]



2009年10月14日、中京大学文化市民会館で未来創発フォーラム2009を開催  
来場者は約1500名。

未来創発フォーラム2009は、10月26日東京国際フォーラムでも開催される予定



### 出版物



未来年表



未来ナビVol4

### フリーペーパーなど